

いわて生衛だより

編集・発行
 (公財)岩手県生活衛生
 営業指導センター
 電話 019(624)6642
 FAX 019(654)2741

宮古市、岩泉町、久慈市へ要望書提出！



11月21日、於：宮古市役所 鈴木副市長へ手交



11月21日、於：岩泉町役場
伊達町長へ手交



11月22日、於：久慈市役所
遠藤市長へ手交

平成28年8月の台風10号による集中豪雨により被災した生活衛生営業者は、生活衛生同業組合店舗で116店舗と多くの店舗が被災しました（9月29日現在調べ）。

このことから、小笠原県指導センター理事長、澤田県生活衛生同業組合中央会会長が、宮古市、岩泉町、久慈市を訪問し、生活衛生営業者に対する支援（復旧費用補助）について、要望書を手交しました。

要望には、地元の地区連絡協議会会長（宮古地区：堀田会長、岩泉地区：中村会長、久慈地区：桑畑会長）も同席しました。

主 な 内 容

年頭のごあいさつ 2
 第28回岩手県生活衛生大会が開催されました... 3
 各種表彰受賞者 3～4
 台風10号災害義捐金を県共同募金会に贈呈... 4
 生活衛生大会でセイエイクイズ当選者を抽選... 4
 組合だより 5～6
 すし業、中華料理、社交飲食業、食肉、クリーニング

標準営業約款(Sマーク)の街頭宣伝活動を実施... 6
 生活衛生改善貸付(衛経貸付)のご案内... 7
 いわて生衛だより100号を記念して ... 8
 指導センターの応援団..... 9
 指導センターの主な事業(28年度).....10
 復興支援事業として、被災地生衛業者支援策説明会を開催しました ...10



年頭のごあいさつ

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

理事長 小笠原 義彦

あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃、当指導センターの事業につきまして、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、センターは公益財団法人に移行して3年目となり、様々な生活衛生業振興に関わる事業に取り組んでいるところです。

東日本大震災復興につきましては、被災市街地での嵩上げ工事や復興住宅の整備が進む中、本設店舗建設が本格化しており、指導センターでは、被災された方々が安心して本格営業ができますよう、支援策の説明会や経営相談会を開催しています。

また、昨年8月末の台風10号の集中豪雨により被災された宮古市・久慈市・岩泉町の生活衛生営業業者の方々の店舗・設備の復旧補助が円滑に進むよう、昨年11月に関係市町長に直接お会いしての要望活動も実施したところです。

地域活性化連携事業（理容組合が事業主体）に

つきましては、当センターも企画業務を担い各生活衛生同業組合の協力のもと26年度から実施し、28年度をもって3ヶ年の事業を終了することになります。当事業は、福祉関係者を始め多くの人到大変好評であったことから、今後は補助事業に頼らず、県下全域で福祉施設やふれあい交流サロンに出向いての出前型サービスが展開されるよう、関係者の自主的な話し合いが活発になることを期待しています。

このほか、指導センターでは、「衛生水準の確保・向上事業」を展開しており、国体開催に対応しての衛生管理セミナーや組合の若手人材育成の岩手セイエイ塾を実施していますが、今後は、より実効性のある組合加入促進への協力支援を行う必要があると考えております。

社会の人口減少や規制緩和・情報化が進むなど、変動する環境下ではありますが、業界全体で新たな生活ニーズを把握し的確なサービス提供に努めていくことが、必ずや潤いある県民生活に繋がると思います。

皆様にとりましては、健康で新たな飛躍の年になりますよう祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

あけましておめでとうございます



年頭のごあいさつ

岩手県環境生活部長

津軽石 昭彦

平成29年の年頭にあたり、謹んで御挨拶を申し上げます。

生活衛生関係営業業者の皆様には、日頃から営業施設の衛生水準の向上、消費者サービスの充実や業界の健全発展に積極的に取り組んでおられますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

東日本大震災津波からもうすぐ6年が経とうとしています。この間、生活衛生関係営業業者の皆様には組合員に対する支援を始め、さまざまな支援活動を通して被災者の交流の場を提供し、多くの被災者の方々を癒すとともに、元気を取り戻すための大きな支えとなっただけでありません。

また、災害支援協定の締結、岩手県総合防災訓練への参加など災害に対する備えの面でも重要な役割を果たされていることに、深く敬意を表する次第であります。

被災地においては、復興道路や災害公営住宅の整備、仮設店舗から本設店舗への移行など復興の歩みは着実に進んでおりますが、その一方で、未

だ応急仮設住宅等で不自由な生活を送られている方もいらっしゃると思います。

このような中、昨年は震災後、被災地では初の開催となる、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を、成功裏に開催することができました。「広げよう感動。伝えよう感謝。」のスローガンの下、全国の皆様に、復興に邁進する本県の姿を見ていただくとともに、感謝の気持ちをお伝えすることができました。生活衛生関係営業業者の皆様には「おもてなしの心」で県内外からのお客様をお迎えいただき、改めて御礼申し上げます。

県としては、今後も希望郷いわての実現に向けて、災害からの復興を力強く推進して参りますので、引き続き皆様の御支援をお願い申し上げます。

生活衛生関係営業業者の皆様におかれましては、引き続き本県がもつ素晴らしい「おもてなしの心」を県内外の皆様に知っていただけるよう、これまでも増して、組合員相互の連携強化や創意工夫を図りながら、安全で安心な質の高いサービスを提供していただきますよう御期待申し上げます。

結びに、業界のますますの御発展と本年が皆様にとって健康で幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

第28回岩手県生活衛生大会が開催されました

平成28年11月7日(月)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、来賓及び多数の組合員参加のもと、第28回岩手県生活衛生大会が盛大に開催されました。

第1部では、顔マッサージや耳のエステといった「新しい理容施術のデモンストレーション」が行われ、理容組合の菅原和美氏、瀬川香織氏が実演し会場を盛り上げました。

また、「被災地からの現場レポート」と題し、小澤良幸氏、横田博安氏、佐々木俊夫氏による震災から現在に至るまでの取組みも発表され、被災地で奮闘する3名の姿に会場からは割れんばかりの拍手が送られました。

第2部の表彰では、出席された7名の環境衛生功労者及び1名の環境衛生優良施設に対する知事表彰状が熊谷県環境生活部副部長より手渡され、また、澤田生活衛生同業組合中央会長から出席された9名の県中央会長表彰受賞者に表彰状が手渡されました。

この後、知事、盛岡市長から祝辞があり、受賞者を代表して食肉生活衛生同業組合の横沢盛悦氏より謝辞が述べられ、吉津中央会副会長より大会宣言が朗読されました。

第3部の表彰受賞者を囲む祝賀会では、台風10号で被災した方々を応援するべく募金活動が行われ、募金箱が溢れるほどの支援が集まりました。また、セイエイクイズの抽選や飲食業組合が企画した「盛岡りんごハイボール」が振る舞われるなど、例年以上の盛り上がりを見せた祝賀会となりました。



平成28年度各表彰受賞者の皆様 栄えある受賞おめでとうございます

平成28年10月28日(金)「ホテルニューオータニ」において、平成28年度生活衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰と全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰が行われ、次の皆様が受賞されました。

◎厚生労働大臣表彰受賞者



すし業
副理事長
新田 直美氏
(北上市)



飲食業
監事
佐々木 寛全氏
(大船渡市)



理容
常任理事
黒澤 泉氏
(大船渡市)



クリーニング
理事
工藤 喜代治氏
(二戸市)

◎全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰受賞者



すし業
常務理事
菊池 俊一氏
(遠野市)



中華料理
常務理事
坂本 倉蔵氏
(釜石市)



飲食業
副理事長
高橋 正人氏
(花巻市)



◎岩手県知事表彰（環境衛生功労者並びに環境衛生優良施設）受賞者

（環境衛生功労者）

- ①中華料理 小 川 修 治（盛岡市）②社交飲食業 佐々木 学（花巻市）③食 肉 横 沢 盛 悦（八幡平市）
 ④理 容 菊 地 幸 夫（奥州市）⑤理 容 福 田 勝（一戸町）⑥美容業 小 時 田 イネ子（遠野市）
 ⑦旅館ホテル 菊 池 達 哉（奥州市）⑧クリーニング 古 澤 淳（大船渡市）

（環境衛生優良施設）

- ①みつこ美容室 稲 場 み つ（宮古市）②よしかわ美容室 吉 川 ア イ（釜石市）
 ③牧原美容室 牧 原 栄 子（岩泉町）

◎岩手県生活衛生同業組合中央会長表彰受賞者

- ①すし業 佐々木 良 男（宮古市）②中華料理 小 澤 良 幸（花巻市）③社交飲食業 瀬 戸 美栄子（盛岡市）
 ④飲食業 宅 石 美穂子（久慈市）⑤理 容 佐々木 俊 夫（大船渡市）⑥理 容 小 本 幸 男（宮古市）
 ⑦理 容 櫻 庭 晋（九戸村）⑧美容業 小 山 妙 子（一関市）⑨美容業 外 谷 貴 子（久慈市）
 ⑩旅館ホテル 高 田 貞 一（北上市）⑪クリーニング 千 葉 健 三（釜石市）

台風10号災害義捐金を県共同募金会に贈呈 （生活衛生大会参加者の募金）



岩手県生活衛生同業組合中央会では、岩手県生活衛生大会の参加者からの募金123,060円を11月15日（火）に岩手県共同募金会に贈呈いたしました。被害に遭われた方々へ心からお見舞い申し上げるとともに、一刻も早い復旧をお祈りしています。

（写真は右から根子共同募金会専務理事、澤田中央会会長、鈴木中央会副会長）

生活衛生大会でセイエイクイズ 当選者を抽選

会にて、厳正なる抽選をし、5名の方が当選されました。当選者の皆様には「いわちく詰め合わせセット」を郵送いたしました。

今後も不定期でセイエイクイズを紙面上で出題しますので、お見逃しなく！！

Q1 生活衛生同業組合は岩手県にいくつあるでしょう？

答え 12組合

Q2 食中毒の原因で、件数・患者数で最も多いものは何によるものでしょうか？

答え ノロウィルス

前号でセイエイクイズを出題し、県内広域からご応募いただきありがとうございました。

11月7日（月）に行われた生活衛生大会懇親

組合だより



第10回ザ・すし屋 オータムフェスティバル ザ・ファイナル

平成28年10月26日(水)、盛岡グランドホテルにて第10回ザ・すし屋 オータムフェスティバルを開催しました。

今年は210名のお客様にお越しいただきました。例年に比べお客様が少ないかなと思いつつも、ひとつひとつ心を込めて握らせていただきました。

このフェスティバルは今年で10回目を迎えたが、ホテルの料理を満喫し、職人の握りたての寿司を堪能できる素晴らしいパーティだと自負しております。司会のIBC菊池幸見アナウンサーの軽快なトークもあいまって、抽選会也大いに盛り上がりました。

今回でファイナルということで、「もうやめてしまうんですか？」という終了を惜しむ声が、特に女性のお客様から寄せられました。

私も初回から第10回まで握り手として参加させていただきました。第1回は370名ほどのお客様にお越し頂き、盛大にとり行われましたが、途中から贅沢感が薄れた様な気もしております。

その点を反省し、改善し、もし今後機会があれば違った形で皆様にお会いできればと思います。

バンザイ ザ・すし屋！！



組合レクリエーション 大会開催

中華料理組合では、一年に一回組合全体でレクリエーション大会を開催しています。各支部が持ち回りで主管し、組合員と従業員の方や家族も参加して行うイベントです。

今回は水沢支部が担当し、組合員でもある「リサーチ四季の抄」を会場に、趣向を凝らした様々なゲームをしました。ゲームは全部で五種類。その合計点数で各支部に順位が付きます。

組合員の小さな子供達も楽しめたのは、「トイ

レロール早巻きゲーム」と「たたいてかぶってジャンケンポン」でした。

意外に難しいゲームは、「そろえて答えるゲーム」と「オレンジ投げフォークでキャッチ」でした。「そろえて答えるゲーム」とは、例えば〇〇県と言え？の問いに5人の答えがそろえば、得点になります。

岩手県と言え？には「平泉」「岩手山」などの答えが出たりしました。

特別な道具を使わなくても、工夫した様々なゲームにより、中華料理組合全体で楽しむ事が出来たと思います。

今回も和やかな組合レクリエーション大会を開催出来たのは、担当した支部のまとまりの良さと、中華料理組合員の参加協力によるものと言えるでしょう。

次回の組合レクリエーションにも沢山の方に参加してもらい、リフレッシュする機会にしてほしいと思いますし、組合員の交流の場として、続けていきたいイベントです。



組合活性化に向けて 研修会に参加

せいえい月間の11月21～22日、全社連主催の若手(中堅)組合員の意識改革研修が東京都で開かれ、全国から93人が参加しました。岩手からは3人が受講し、生衛業の使命から法改正まで幅広く学びました。

組合費を負担ととるか投資ととるかで意味が違ってくことや、「ないない尽くし」ではなく、組合には仲間がいて組織があり、それを支える法律があるといった価値も再確認。初の試みのグループ討議では、共通課題の①組合員増強②後継者育成③組合員の責務と役割について話し合いました。

地方最多の組合員数を誇る新潟県は「人のために一緒に汗を流しませんか？」と加入を促し、地域イベントに参加した汗が噂となって加盟店にお客が集まり、店の価値向上につながった例を紹介。社交祭も実現させ、「自分たちのマーケットは自分たちで作る。それを組合でやっていけばよ

り喜ばれる組合になるのでは」という攻めの言葉に刺激を受けました。

また、今年の全国大会は旭川市で9月5日に開かれ、岩手の8人を含む約600人が35都道府県から参集。大会と懇親会が終了後、全国の仲間と絆を深めるため、「さんろく街」へ夜の研修に繰り出しました。



意識改革研修でグループ討議



ミートデリカコンテスト 岩手県大会開催

近年、食肉店では「お肉屋さんのお惣菜」としてお客様に喜んでもらえるお惣菜の販売に力を入れているところです。

今年度も、消費者の皆さまから新感覚お惣菜のアイデアを大募集し、書類選考を通過した9名の出場者によりミートデリカコンテストを開催しました。

限られた予算の中で、一時間という調理時間枠の中で、それぞれ個性あふれる作品がフードパックに彩りよく並びました。

審査は、専門知識を持つ4名の先生方により、「味・工夫・アイデア・実用性」等の観点から評価をしました。

慎重な審査の結果、最優秀賞には、高橋ノリ子さん（主婦・紫波町）の「豚肉・鶏肉のやわらかロール」が選ばれました。

岩手の食材を使用し、丁寧に手際よく仕上げ、茹でるという作業を加え、温かでやさしい作品であったとの講評でありました。



高橋さんは、県代表として、12月3日東京で開催される全国大会に出場します。

入賞し、惣菜マニュアル集としてページを飾り、店頭に商品が並ぶことを期待します。



「全国クリーニング大会 in 盛岡」開催

11月12日(土)、第8回全国クリーニング大会 in 盛岡がホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングで開催され、全国から291名が参加した。

東北ブロックでの全国大会の開催は平成23年度に福島県で予定されていたが、東日本大震災の発生により中止になっていた。そのため、5年の年月を経て開催に至った今大会では「復興・感謝・防災」をテーマに掲げた。

開会式では岩手県・達増拓也知事、衆議院・高橋ひなこ議員などからご祝辞をいただき、生活衛生業の重要性やクリーニング業界への期待のお言葉をいただいた。

大会では被災した東北の街や同業者がどのように現実と向き合い、復興への歩みを踏み出したのかについてドキュメンタリー映像で伝え、全国の仲間からの支援や励ましに感謝の意を表し、復興支援ソング「花は咲く」を合唱した。

懇親会では社交飲食業組合の西部理事長率いるバンドによるジャズ演奏や盛岡さんさ踊り、INAZO カクテルの提供などで盛り上がった。

開催に際し、皆様から多大なるご協力とご支援をいただきました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。



標準営業約款（Sマーク）の街頭宣伝活動を実施

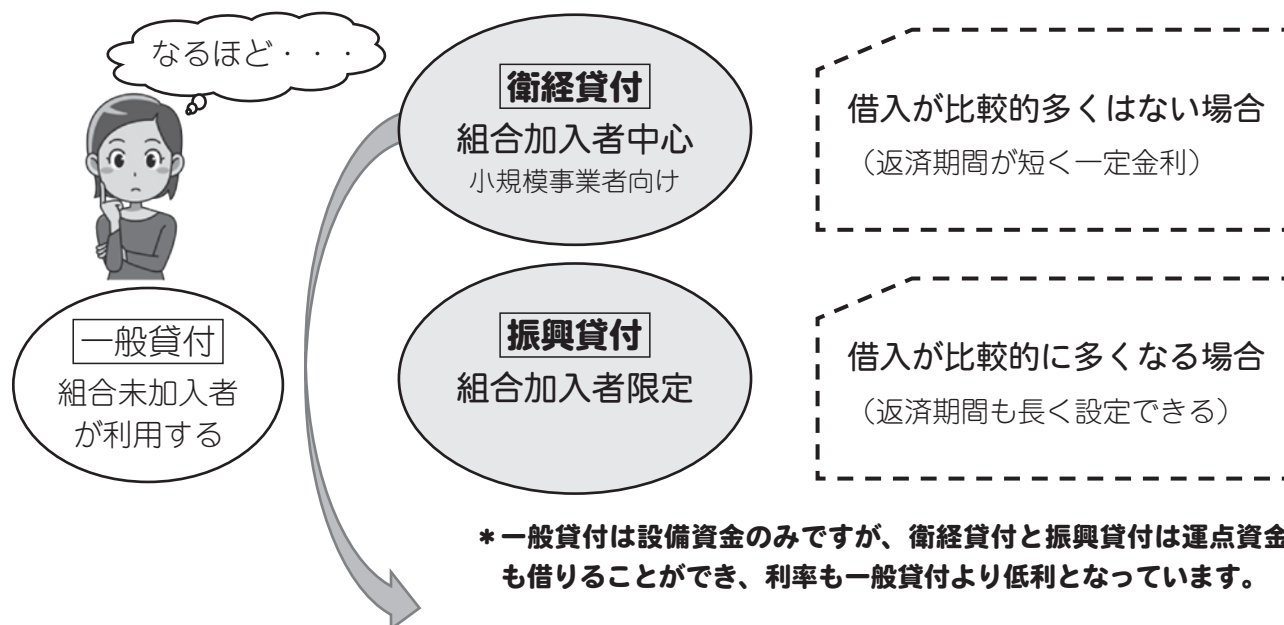
11月11日(金)に盛岡市大通商店街において、指導センター及び約款登録組合事務局職員が標準営業約款（Sマーク）PRティッシュを配布し、街頭宣伝を実施しました。当日は小雨が降るあいにくの天気でしたが、500個用意したティッシュは30分足らずで配り終えることができました。道行く人の中には、自ら進んでSマークについて尋ねられる方もおり、積極的にPRができる良い機会となりました。

Sマークの次回登録は2月です。Sマークについて詳しく知りたい場合は指導センターにご連絡ください。



・・・生衛組合の組合員になっていると・・・
生活衛生融資(日本政策金融公庫資金)が有利な条件で利用できます。

「生活衛生融資」は大きく次のようになります。



【簡単ガイド】今回は **衛経貸付** についてご説明します！

衛経貸付（生活衛生改善貸付）の貸付条件は次のとおりで低利で気軽に利用できます。

区分	設備資金	運転資金
融資額	2,000万円以内	
返済期間	10年以内	7年以内
(うち据置期間)	(2年以内)	(1年以内)
利率(年)	1.16%(H28.10.29現在)	
保証人・担保	必要ありません(保証料も不要)	

雇災証明がある方は
さらに**低利**でご利用
いただけます。



東日本大震災の雇災証明のある方は1,000万円までは当初3年間**0.9%**引き下げられます。
従業員の雇用維持・拡大計画がある場合の設備資金は、さらに引き下げられます。

～たとえばこんな時!!～

- 設備資金ケース1：お客様を乗せるなどの営業車両を購入したい
 ケース2：駐車場、看板等の集客設備を整えたい
 ケース3：理美容室のイスやシャンプー設備を更新したい
 運転資金ケース1：買掛金決済の諸費用支払の資金がほしい



Q「手続きはどうすればいいの?、すぐに借りれるの?」

- ➡ ・関係書類をご用意ください(借入申込書、所得税確定申告書、見積書など)
 ・簡単な指導センター職員のヒアリングと審査会付議があり、その後の貸付実行になります。

★詳しくは最寄りの公庫支店(盛岡店019-623-4376、一関店0191-23-4157、八戸店0178-22-6274)
 関係する各組合や特別経営相談員、指導センター(019-624-6642)へお問い合わせ下さい。

いわて生衛だより100号を記念して

あの頃をプレイバック

昭和45年	第1号「環衛いわて」発刊
昭和56年	第29号「いわて環衛だより」に名称変更
昭和57年	岩手県環境衛生営業指導センター (現：岩手県生活衛生営業指導センター) 発足
平成13年	第68号「いわて生衛だより」に名称変更



「生衛だより」にみる生活衛生業と指導センターの沿革

第1号～30号

「いわて生衛だより」は、昭和45年10月に「環衛いわて」として発行されたのが第1号とされており、当時は岩手県自らがB5版で発行しています。

現存する第4号（昭和46年7月）をみると、特別経営相談員の創設の記事があり、講習科目は衛生法規から経営診断・簿記など多岐にわたり、講義時間も18時間と内容の濃いものだったようです。また、当時の環境衛生同業組合総会の開催記事もあるほか、環衛公庫の融資申し込み数も年間900件近くあったようです。



生衛だより100号に寄せて

中小企業診断士

宮 健

「いわて生衛だより」が記念すべき第100号を迎えたとのこと、まことにおめでとうございます。この機会に、岩手県生活衛生営業指導センター（以下「指導センター」という）と私との関わりについて、振り返ってみたいと思います。

私が指導センターから依頼されて、特別相談員の研修会講師などを担当するようになったのは平成10年（1998年）頃のことです。同年8月に発行された「いわて環衛だより」（生衛だよりの前身）第63号に、「時の話題」の第1回が掲載されており、肩書に「指導センター顧問、中小企業診断士」とあります。テーマは、「日本版金融ビッグバン」という、ちょっと硬いものでした。

今回この原稿を書くに当たって、指導センター事務局の庭田菜摘さんに古い資料を調べてもらったところ、「環衛いわて」（発行所は岩手

県厚生部環境衛生課）第4号（1971年7月10日発行）に、私が「変化に対応する経営～飲食店経営について～」というテーマで原稿を寄せていることがわかりました。

今から45年前のことで、私の肩書が岩手銀行経営相談所長となっています。この時が第4号ですから、「生衛いわて」（通算）は50年近くかかって、第100号を迎えたということになります。

前述のとおり平成10年に始まった「時の話題」は、今回で36回になることもわかりました。ほぼ18年間にわたって、毎年2回書いてきたことになります。

指導センターとのお付き合いを通じて感じているのは、一見バラバラとも思われる多種多様な業種が、「生活衛生業」という括りで結びついていることです。よくよく考えて見ると、国民生活や保健衛生と密接な関係があり、広い意味での「サービス業」の集まりですから、別に不思議でもありません。

むしろこの結びつきを生かして、お互いに切磋琢磨しながら、厳しい環境の中をたくましく進んで欲しいと願っています。

第20号(昭和50年8月)では、現在の組合中央会の前身である岩手県環境衛生同業組合中央会が発足しており経営相談を開始しています。

第31号～67号

第31号(昭和57年9月)になると、環境衛生営業指導センターの発足があり、第33号からは発行主体が岩手県と指導センターの共同に移行しています。

また、31号から46号(平成2年1月)まで、シリーズで県内各保健所の紹介がなされています。このほか、この時期の組合は組合員数も多く、飲食系組合では一般県民も参加できるような豪華な応募プレゼント企画などが行われています。

44号(平成元年1月)では第2回生活衛生大会(当時は14組合)の記事があり、参加者数が240人と大変盛大だったようです。

なお、45号(平成元年8月)によると、指導センターが上ノ橋町から現在の志家町美容会館に移転しており、第50号(平成4年1月)では、営業振興助成交付金(特別消費税収入1%見合い)が制度化され指導センターが各組合の営業振興の事業支援を行っています。(平成11年度迄で終了。12年度から14年度迄県単の営業振興事業。)

第68号～88号

第68号(平成13年1月)からは、関連法律において「環境衛生」が「生活衛生」に改正されたことに伴い、「いわて生衛だより」となり現在の横書きA4版になります。第72号(平成15年1月号)では、指導センター設立20周年の生活衛生大会の開催や記念誌「20年の歩み」の編纂刊行が紹介されています。

このほか、組合開催の各種競技大会や消費者との懇談会が目につくようになりますが、一方では、景気の低迷や異業種やチェーン店参入といった社

会環境の変化もあり、組合員数の減少も始め、新任の組合理事長抱負の記事に、これら課題への対応への思いが語られるようになってきています。

なお、第85号(21年8月)からは、それまでの岩手県と指導センター共同発行から、指導センター単独発行に移行しています。

第89号～

第89号(平成23年8月)からは、東日本大震災大津波(平成23年3月)に関連する記事が中心となり、組合と指導センターが一体となって避難生活者への弁当配送支援、現地での炊き出し支援やマッサージ等を実施し、業界あげて復興支援事業を展開しています。

指導センターでは、全国センター委託事業を活用し、早急の被災住民支援の後、被災営業者の状況調査、経営相談員配置、支援策説明会や訪問相談といった活動を続けています。

このほか、第92号(25年8月)では、岩手県をはじめとする自治体との災害支援協定の締結があり、学校での体験学習も沿岸地区の小中学校を中心に展開しています。

また、第95号(平成26年8月)では、指導センターの公益財団法人移行に伴うホームページのリニューアルが掲載されています。

同95号以降は、福祉施設等での出前型サービス展開を内容とする「生活衛生関係営業地域活性化連携事業」(26～28年度：理容組合主体)、衛生管理セミナーなどの「衛生水準の確保向上事業」、映画館の思い出エッセイ募集といった文化情報記事も盛り込まれるようになります。

組合と指導センターが取り組む事業は、年々関係者から注目されるようになっていますが、これも50年に近い諸先輩の取り組みの賜物と思いを寄せ、100号沿革とさせていただきます。

(指導センター専務理事兼事務局長 下屋敷)

指導センターの応援団

(公財)岩手県生活衛生営業指導センターの賛助会員の方々をご紹介します

医療法人友愛会盛岡友愛病院

岩手県酒造組合

小松総合印刷株式会社

一般社団法人岩手県食品衛生協会

株式会社岩手畜産流通センター

株式会社総合広告社

タカラベルモント株式会社

有限会社ジロー印刷企画

● 指導センターの主な事業(28年度) ●

区 分	事 業 名	月 日	場 所	実 績
経営特別 相 談 員	経営特別相談員養成講習	6月27日(月)	岩手県美容会館	3名養成
	経営特別相談員研修	11月7日(月)	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング	46名受講
ク リ ー ニ ン グ	クリーニング師研修	9月11日(日)	岩手県自治会館	21名
		10月16日(日)	宮古地区合同庁舎	14名
		11月20日(日)	水沢地区センター	31名
		10月～12月	2型(通信制)	10名
	クリーニング業務従事者講習	9月11日(日)	岩手県自治会館	35名
		10月16日(日)	宮古地区合同庁舎	4名
		11月20日(日)	水沢地区センター	33名
		10月～12月	2型(通信制)	17名
育 後 継 成 者	体験学習(小中学校)・ 職業体験スキルアップ(高校)	10月24日(月)	花巻東高校(すし業・美容業組合)	2年生35名
		11月16日(水)	鶴住居小学校(クリーニング組合)	6年生26名
		12月5日(月)	大船渡中学校(飲食業・美容業組合)	1年生62名
維 衛 持 生 ・ 水 向 準 上 の	衛生管理セミナー	6月6日(月)	二戸地区合同庁舎	32名
		7月4日(月)	ホテル沢田屋(宮古市)	74名
		7月11日(月)	大船渡商工会議所	54名
	セイエイ塾	H29年1月23日(月)	北上商工会議所	未定
復 興 支 援	支援策説明会	8月29日(月)	陸前高田市コミュニティホール	17名
		9月5日(月)	中央コミュニティセンター(山田町)	20名
		9月12日(月)	大槌商工会館	15名
		9月26日(月)	青葉ビル(釜石市)	29名
		10月17日(月)	大船渡商工会議所	27名

復興支援事業として、被災地生衛業者支援策説明会を開催しました



平成28年8月29日(陸前高田市)、9月5日(山田町)、9月12日(大槌町)、9月26日(釜石市)、10月17日(大船渡市)、地元商工会議所、商工会との共催で「平成28年度被災地生衛業者支援策説明会」を開催。

陸前高田会場では、市単独『補助金』の説明があり

店舗数件が補助金を受け、また、大槌会場では、個別相談に参加した生衛業者から、「本設に向けた見通しがたった」との嬉しい報告がありました。

被災地では、グループ補助金等を活用した本設店舗建設の動きが加速していますが、自己負担分や補助金が交付されるまでのつなぎ資金等の依頼が急増、また、震災に加え台風10号集中豪雨とのダブル被災、急速な人口減少や高齢化など将来的な経営の不安等、多くの課題があります。

今後、経営面等を含めた総合的な支援等が行えるよう取り組んでまいります。

生衛業者支援策説明会フォローとして、経営等情報交換会を開催！(地区連絡協議会、商工会等と共催)

	日 時	会 場	対象地域
1	平成29年2月20日(月) 10時～12時	大船渡プラザホテル	大船渡市、陸前高田市
2	平成29年3月6日(月) 10時～12時	釜石ベイシティホテル	釜石市、大槌町
3	平成29年3月6日(月) 15時～17時	宮古ホテル沢田屋	宮古市、山田町

詳しくは指導センターホームページをご覧ください。<http://www.seiei.or.jp/iwate/>